

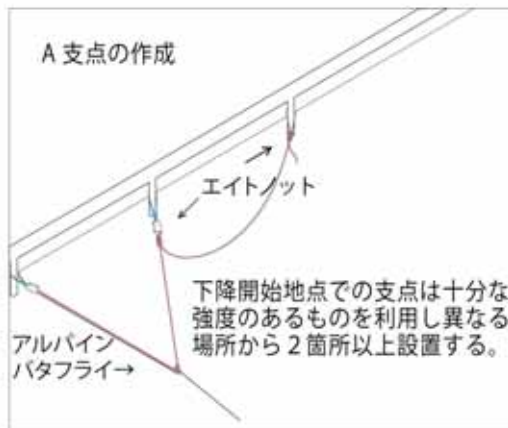
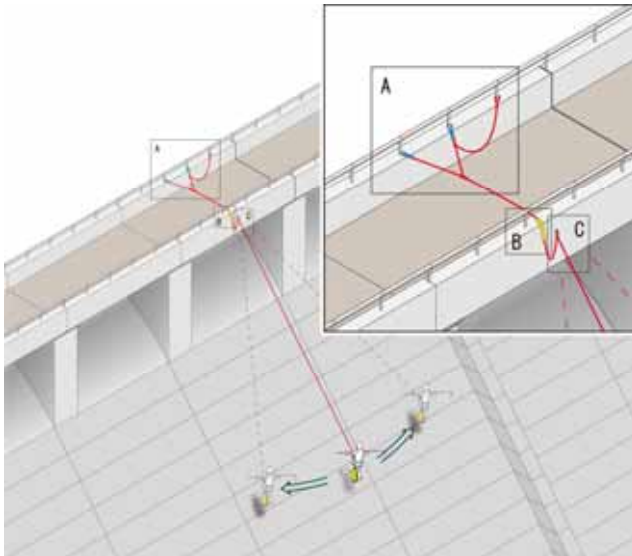
中国四国農政局新技術・新工法概要表(様式2)

新技術の名称	特殊高所技術			本概要書作成日	平成 22 年 6 月 24 日
副題	足場や橋梁点検車等を使用せず、ロープ・装備具を用いて近接目視点検を行う技術			開発年度	2007 平成 19 年
区分	1.工法	工種分類 (2件まで記入可)	工種番号	工種分類	備考
			1	2	コンクリートダム
			6	2	農道(橋梁)
開発会社(機関名)	株式会社特殊高所技術				
問合せ先	会社名	株式会社 特殊高所技術	担当部署	京都営業所	
	住所	〒601-8301 京都市南区吉祥院西ノ庄西浦町 65			
	担当者氏名	美濃輪 茂樹	T E L	075-950-0528	
	F A X	075-950-0628	関連する U R L	http://www.tokusyuu-kousyo.co.jp/index.html	
開発の趣旨・目的	趣旨：調査困難箇所への近接目視調査が可能な技術の創出と安全性の向上。 目的：省人化・省力化・経済性向上・施工精度向上・耐久性向上・安全性向上・品質の向上				
技術の概要	本技術は、足場や重機を使用せずダム等の巨大構造物、コンクリート製・鋼製橋梁、自然斜面での調査・点検および簡易補修を行う技術である。高強度のロープや機材を用いた特殊高所技術者が近接目視する。従来の足場や橋梁点検車・高所作業車を用いた作業に比べ、工期・コストを大幅に減らすことができる。				
適用範囲(条件)	支点設置・作成可能な対象物、全てに適用可。過去実績において調査等ができなかった構造物はない。コンクリート構造物の場合、アンカー打設可能か確認が必要。(支点作成には M8 アンカーを使用する場合がある)				
特徴(メリット・デメリット)	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業時は常時、身体がロープと装備具で複数確保されており非常に安全である。 足場設置・撤去が不要であり、コスト縮減・工期短縮を大きく期待できる。 足場設置のように景観を損なわない。 重機等の使用がないため、騒音・振動等周辺環境への影響がない。 支点確保をしながら柔軟に広範な移動・点検ができる。 対象物に直接接触することにより細部の詳細な把握が可能。 鋼構造物の調査では渦流探傷や浸透探傷などの非破壊検査も可能。 交通規制を伴わない。 技術提供地域に制限なし。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨天・注意報発令時になった場合、一時作業を中断し作業続行の検討を行う。 (野帳記入やカメラ撮影が可能なら雨天でも作業可能である) 水平移動は、鉛直方向の上下移動と比べ時間を要する。 				

【ダム堤体調査点検状況】



【ダム堤体調査点検詳細図】



特許	5.無			
実用新案	4.無			
キーワード	選択	コスト縮減 長寿命化		
	その他			
発表文献	なし			
農業農村整備事業における施工実績(最新10件まで)				
事業名	事業主体(農政局、都道府県名等)	工事名	施工年度	備考
	滋賀県愛知川流域 田園整備事務所	永源寺ダム洪水吐劣化部調査	平成20年度	
	三次市農政課	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(農道保全対策)三国・丹渡地区実施設計業務	平成20年度	
国営干害排水事業	農林水産省近畿農政局	「第20津川・妃の川地区」津風呂ダム貯水面保護対策	平成21年度	
農業農村整備事業以外の施工実績(最新10件まで)				
発注者		施工年度	工事名	
中部地方整備局 三重河川国道事務所		平成22年	四日市管内北部地区橋梁点検業務	
九州地方整備局 鶴田ダム管理所		平成22年	鶴田ダム 堤体壁面補修詳細設計業務	
中国地方整備局 浜田河川国道事務所		平成22年	南田川水門他総合診断業務(細身大橋A2橋台)	
近畿地方整備局 紀南河川国道事務所		平成22年	記南河川国道事務所管内 吹付法面健全度調査	
関東地方整備局 東京港湾事務所		平成22年	臨海大橋WP7橋脚特殊高所調査業務	
関東地方整備局 甲府河川国道事務所		平成22年	坪川大橋橋梁点検業務	
電力会社		平成22年	水力発電所施設 構造物点検	
風車メーカー		平成22年	風車タワー補修工事	
旧公団		平成22年	橋梁点検	
電力会社		平成22年	物理探査支援業務	

* 民間企業の事例に関する詳細記入は控えさせていただきます。

* 名を明かしている民間企業は当社ホームページに記載済み。